

# 平成26年度 深谷台小学校「豊かな心の育成」推進プラン

## 中期学校経営方針・「豊かな心」達成目標

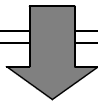
道徳・特活の時間はもとより、全教育活動を通して「自信をもち、思いをいきいきと表現し、伝え合おうとする子」の育成をめざし、豊かなかかわりを大切にした学習活動を重視することにより、自他を大切にする心情や態度を育てます。

## 児童の実態

本校の児童は、明るく素直で人とかかわることが大好きな子どもたちである反面、自分の思いを相手に伝えることが苦手で、人間関係が築けずトラブルになってしまうことがある。自分から挨拶をすることが苦手で、社会性の育成が不十分であるという課題がある。また、自分に自信がもてず、自己肯定感が低い。

## 「豊かな心の育成」に関する指導の目標・方針

- ・全教育活動を通して、道徳教育の充実を図る。
- ・人とかかわりや豊かな体験を通して、自尊感情・自己肯定感を高める。
- ・コミュニケーション能力、社会性を育むために、学級活動の充実を図る。



### 1 指針1「道徳の時間」の充実

☆道徳教育の要となる道徳の時間を通して、子どもが道徳的見方・考え方・感じ方を多様に広げ、自己を深く見つめ、よりよく生きようとする道徳的実践力が身に付けられるようにする。[視点1]

- ・学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育と、各学級の道徳の時間との関連を図り、豊かな体験を生かして指導を行う。
- ・保護者に向けて、年一回は授業公開をする。
- ・懇談会などで、道徳教育や道徳の時間について話題にし、家庭と共通理解、連携を図って指導にあたる。

### 2 指針2「体験活動の充実」

☆望ましい集団活動を通して、集団の一員としてよりよい生活や人間活動を築いていこうとする自主的・実践的態度が育ち、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を伸ばしていけるようにする。[視点3]

- ・学級活動の研究授業を通して、「自分の思いをいきいきと表現できる子」をめざす。
- ・たて割活動や集会活動などを大切にしながら、いろいろな友だちとかかわり、みんなで活動をつくり上げようとする子どもをめざす。
- ・体験的な活動が充実するために、地域や学校ボランティアへの協力を要請する。